「キャラクター名―――――												1 L	スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ			
藤原紅緒											ワーディング	*	_	オート	視界	シーン	自動	-						
										効果:	対果: 非オーヴァードのエキストラ化													
2.2.150	,	Ϊ キュマイラ ├─					クスし	UGNチルドレ: 17		ンAカウ	ブァー] [リザレクト	0	1d10	気絶時	_	自身	自動	↓100		
シンドロー	4									<i></i>				効果:				-	コスト分の	HPで復活				
オプショナル					年齢		齢			M:	生別				赫き剣	3	3	マイナー	至近	自身	自動			
覚醒				衝動			解放		初期侵	食率	食率 36 %		効果:		·	使用時(Lv*2以下の任	E意のHPを	消費し攻	撃力を消費	したHP+2	2		
			者の子		経験			初恋			-			\parallel	獣の力	3	2	マイナー	至近	自身	自動			
出自		犯罪								選	桓	主人	•	効果:			このエフ	ロクトを組み合	îわせた白:	兵攻撃の攻	(撃力を+[_v*2}する	0	
	基本値「		ワークス オ		ボーナス		成長 他修		īF	能力値	НР		37	ـــا ٦	コンセントレイト	2		メジャー						
肉体		4	1	7, 3	3		~~	1019	_	8	一 行動値	_	5	効果:			1	クリ	ノティカル	値を-Lvす	る	1	ı	
感覚		2	0		0					2	(非装備時		5	┧┝──		*								
精神		1	0		0					1	戦闘移動	·	10	効果:				1					T	
社会		1	0		3					4	全力移動	_	20	1										
-	-			感覚						1		社会		┛ 効果: ヿ							1			
	肉体					HZ T				147 T			147 T	l										
技能	SL 2	修正			SL	修正		文配 R C	1	修正	技能	SL	修正	効果:						I	I			
白兵 回避	1		_]撃]覚				ァ <u>し</u> 意志	'		交渉 調達			】 効果:										
	'		芸術:				知識					1		M.A.										
運転:			芸術:				<u> </u>				<u>'</u>		→											
運転:		芸術:				知識:			 			- Mark	'											
運転:		芸術:				知識:				情報:			】 効果:											
運転:			芸術:				知識				·····································			1										
										1				」 			l		1				1	
武器・コン 宮毘羅・紅				能力 命中値 白兵 8r+2		油 攻	攀刀	を対する。			Xモ	メモ												
呂芘維	• 社	八	日共	8r+2	<u>-</u>									効果:					•					
														$+ \Box$										
														効果:		·								
														<u> </u>										
防具 価格 装甲 回避 行動							メモ																	
防弾防刃シ	ヤケ	「ット	6	3										私は、	世間で言う不幸せな家庭に生	まれた。								
															父親は事業に失敗し、酒に溺れ。私と母親に暴力を続けた。母親は父親の度重なる暴力により精神が崩壊、毎日私に対して言葉の暴力。 そんな毎日が続いていた。									
													0	ある日、学校から帰り、家に着いたとき、家の奥から母親の悲鳴が聞こえた。										
														父親は	すぐ扉を開け、中へと入ると、母親が頭から血を流して倒れていた。 父親は涙を流しながら笑い、母親を鈍器で殴り続けていた。									
対象 感情(pos) 感情(neg) タブ 消費											タイ消費	私は恐	私は恐怖で足がすくみ、その場から動けなかった。 父親は母親が動かなくなったのを確認すると、私の方へ近づき。											
大神秀人 P 好奇心 N 猜疑心										「お前	「お前も災難だな、こんな母親から生まれ、こんな俺に育てられた。」 「せめてもの償いだ、俺がお前を母親のもとに送ってやる。」													
藤原裕二 P 同情 N 憎悪										と言い	と言い、私の首を締めた。													
											私の首を締めている間、父親は笑い続け、涙を流した。 薄れゆく意識のなか、幸せだった頃の走馬灯が流れ、そのまま意識をなくし、私は死んだ。													
座頭一義則 P 信頼 N 疎外感										そして	そして、私は死という体験をしたとき、力に目覚めた。													
									未来		見近感 N 疎				その力が私を無理やり生き返らせ、気がつき、周囲を見渡すと、家には父親はここには居なかった。 母親の無残な死体を見て、私は、笑っていた。									
							浅」				子奇心 N 7			やっと	やっとこの地獄から開放された、私は笑い続け、涙を流した。 後日、父親が警察に捕まった知らせを聞いた。									
							1	尾登涯			子奇心 N 頻				人がからまないます ファインド	で同い/ご	•							
							╗┼							死ぬということはさほど重要										
							最;	大財産F	P:	8	残り財産P:			他人を	信用することはなく、自分の	能力だけ	を信じ、生	きている。						